

学童保育の今

95

私は、将来子供たちにかかわりのある仕事をしたいと考えている。そのための第一歩として、私の住む地域にある学童保育で指導員のお手伝いをさせていただいている。しかし、何度かお手伝いさせていただいたが子供たちとどう遊んだらよいかや、指導員として何が必要なのか、学童保育はどんな役割を持っているのかなどわからないことがたくさんあることに気が付いた。そこで今回、学童保育とはどういったものなのかについて考えてみる。

まずは、学童保育の基本情報についてみていく。学童保育の制度は、1960年代後半に当時の文部省が、留守家庭児童のことを指すカギっ子の対策として、始まったものである。¹共働きやひとり親家庭の小学校児童たちが、放課後異なる年齢の集団で遊んだり、ボランティア活動をしたり、昆虫採集、日本舞踊などたくさんの活動に取り組んでいる。もちろん、宿題や予習もしている。²全国に2万か所以上あり、82万人の小学生たちが保育されている。³利用できる学年は、地域によって3年生までと決められているところもあるが、希望すると6年生まで通えるところも少なくないようだ。⁴利用できる曜日は、その施設によって異なるが学校のある平日や長期の休み、さらに土曜日にも利用できるところもあるようだ。⁵また学童保育は、児童福祉法で、児童健全育成事業として条文化している。⁶

¹ 二宮厚美 (2012) 「福祉国家における学童保育の発展」 二宮厚美・増山均・宮崎隆志・石原剛志・住野好久・二宮衆一・奥野隆一・中山芳一・楠凡之・丸山啓史・新妻二男・竹内常一『現代日本の学童保育』株式会社 旬報社 p18

² 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p200 表4 参照

³ 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p194

⁴ 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p197

⁵ 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p195

⁶ 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・

日本ではこれからも共働き家庭やひとり親家庭等が増えてくると予想されている中、2014年5月22日に安倍晋三首相は「5年間で30万人分の受け皿をつくっていきたい」と横浜市内の小学校を訪れ、放課後学童保育の取り組みを視察後記者団に述べ、学童保育施設の定員を30万人拡充する考えを表明した。⁷したがって学童保育は子どもたちにとって放課後や長期休みでの生活の場所としてや、保護者たちにとっては安心して働き続けるために必要な施設であるといえる。

次に、学童保育での生活についてみていく。学童保育は、学校のある平日は学校の終わる午後2時頃から午後6時頃までの約4時間を過ごしている。子どもたちは、「ただいま」と大きな声言いながら学童保育まで帰ってくる。指導員たちは、「おかえり」と返事を返すまで子どもたちが、本当に自分の家に帰ってきたかのように出迎える。帰ってくると、まず子どもたちは自分のランドセルを自分のロッカーに入れ、宿題をしたり、休憩をしたり、遊んだりして過ごす。また、午後4時頃からはおやつのある時間がある。この時間は、当番制で準備や片付けをする学童保育もある。この時間帯になると、高学年の子どもたちも学校から帰ってきているので、あらゆる学年の子どもたちみんな遊び始めることが多いようだ。しかし、早めのお迎えの子どもたちや、習い事に行かなくてはならない子どもたちも出てきはじめる時間帯でもある。そのため、とても自由な時間帯であると言える。午後6時頃になると、お帰りの時間となり保護者が子どもたちを迎えにやってくる。また、指導員が子どもたちを家まで送っていくこともあるようだ。こうして平日の学童保育は終了する。⁸

また、土曜日や長期の休みではどう変化していくのかみていく。このときは、子どもたちが来る時間はまちまちだが、おおよそ午前8時頃から学童保育にやっ来て、平日と同じ午後6時頃までの約10時間を学童保育で他の子どもたちとともに過ごす。朝から子どもたちは、「おはよう」と元気にあいさつをしてやってくる。指導員たちも「おはよう」と返事をして、学童保育の一日を始める。まず、午前中のうちに宿題などを終わらせてしまう。また、夏休みには学校のプール開放もあり、プールに行くまでの時間で宿題を終わらせてしまい、プールに出かけていく子どもたちもいる。午後12時頃になると、待ちに待った昼食の時間となる。昼食は子どもたちが家からお弁当を持って来たり、指導員が手作りしたり、あるいは、子どもたちと一緒に昼食づくりをしたりすることもある。昼食が終わると、お昼寝をする子どもたち、すぐにはしゃいで遊び始める子どもたち

遊び・気になる子』福村出版 p13

⁷ 『日本経済新聞』学童保育、5年で30万人拡充 首相が表明 2014年5月22日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFS22029_S4A520C1PP8000/

⁸ 田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011) 『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p198 表「学童保育の生活の流れ」参照

などさまざまである。午後3時頃になると、おやつの時間になる。時間が平日より1時間早くになっているが、平日のおやつと変わらないようだ。そして午後6時頃になると、お帰りの時間となり保護者が子どもたちを迎えに来る。⁹このような生活に加えて、長期の休みになると、たくさんの行事も開催されていく。終業式や修了式の日にお楽しみ会を開いたり、保護者たちも参加してみんな遠足に行ったり、キャンプをしたりなど、長期の休みだからこその行事が組み込まれていることが多い。このように、学童保育での生活は、ただ規則正しくきちんと生活するだけではなく、家族旅行のような楽しみもあるので、「第二の家庭」のようになっているといえる。¹⁰

では、現在学童保育が抱えている問題にはどんなものがあるのかみていく。1つ目にあげられるものに、施設整備が追いついていない点があげられる。厚生労働省によると、全国の学童保育の待機児童数は、2013年5月時点で8689人、前年同期から1168人増えた。さらに、潜在的な待機児童は数十万人との試算もあるため、いかに施設整備が遅れているかがわかる。

厚生労働省は5年後を目標に30万人分受け入れを増やす方針を出し、また文部科学省は子どもに遊びの場を提供する目的で整備する「放課後子供教室」との一体型施設が中心となる見通しを立てている。¹¹また、施設だけではなく、指導員についても問題がある。指導員には能力を認定する公的資格がなく、厚生労働省としては、保育士や教員免許の取得を必須ではないが求めている。しかし、指導員の約4分の1は無資格であるために、保育の現場で「保育の質にばらつきが生まれかねない」との懸念が高まっている。そんな中で、各地の専門家たちが指導員の能力を認定する資格を考えはじめているようだ。

NPO法人「日本放課後児童指導員協会」（岡山市）を2009年に岡山大などが設立し、大学教員らによる講座を受けた人を「放課後児童指導員」と認定し、すでに540人が資格を取得している。幼稚園教諭や保育士の資格を持っていても、小学生段階の児童の振る舞いには戸惑う指導員も多いようで、同法人の中山芳一助教は「専門的な知識があれば児童の心理状態が分かり、落ち着いて対処できる」とする。¹²

⁹田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著（2011）『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版 p198表「学童保育の生活の流れ」参照

¹⁰田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著（2011）『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版

¹¹『日本経済新聞』学童保育、利用者登録は最多の88万人 施設整備追いつかず 2014年6月6日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0504C_V00C14A6CC1000/

¹²『日本経済新聞』学童保育にも「プロ」 指導員ら講座に続々2014年5月7日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0103R_X00C14A5CC0000/

このように施設や指導員の問題がある中、さらに、学童保育での質についてもさまざまなことが言われている。夜遅くまで預かってもらえたり、学校からスクールバスでお迎えをしたりするのは、もう当たり前のサービスとなっており、もっと個性的なサービスを売りにしていかなければならなくなっている。その背景として、異業種の参入が最も大きい。

例えば、東急グループで学童保育を手がけているキッズベースキャンプ（KBC、東京・世田谷）が子どもたちの手で商店街を作る「KBCタウン」を開いた。この「KBCタウン」は今年で5回目となり、年間を通じた教育プログラムの集大成的なイベントである。子どもたち主体で模擬店の企画立案から行い、会場内で仮想通貨を流通させ、保護者や大人たちを出迎える。島根太郎社長は「『店員の勤務シフト表』や『売り上げ』などが机上より実感として学べる」「バザーとは異なり、子供が企画し店舗の中でも主役だ」と話す。

また、住友商事では1日3時間の英語プログラムを学ぶアフタースクール施設を開設し、ネイティブ教師による独自カリキュラムを組み、英語教育の充実を売りにするようだ。さらに、学習塾業界までもが小学校低学年向けに創造力やコミュニケーション能力を高める学童保育サービスを始める。決して受験のための学童保育ではなく普通の出来事を大きな学びにつなげていきたいという考えからであるようだ。

これら新しく参入する企業が考える学童保育の共通点として、「自主性・協調性のある子供に」「決断力を持つ子供に」といった点があげられる。このように、あらゆる業種が学童保育に参入してくることは、学童保育の待機児童の減少にもつながるものになり、共働きの家庭にもうれしいものとなるはずだ。しかし、この場合企業ということもあり、利用料が高くついてしまい、ひとり親の家庭にはとても厳しいものとなることが予測される。したがって、あらゆる経済状況の家庭でも安心して通うことのできる施設を増やすことが必要だと推測される。¹³

今回、学童保育がどういったものなのか調べてみて、もっと早くからこの制度が全国に広まっていていたらよかったのにと感じた。今では、私の住む地域にもできて、たくさん子どもたちが利用しているが、私が小学生の時は、仕事で親のいない子たちは、みんな家の鍵を首からぶら下げて「今日もひとりや」と嘆きながら自分の通学団の列に並んでいた。学童保育ができたのは、私が小学校5年生の時にできて、そのころには、みんなもう慣れた様子で何も嘆くことなく帰っていました。もう少し早く学童保育ができていればその子たちがどれだけ助かったことかと思った。学童保育は、都会に必要だというイメージだが、実際に

¹³ 『日本経済新聞』経済感覚や英語力磨け 企業の学童保育、個性競う 2013年3月11日 2014年6月28日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK05025_V00C13A3000000/

基礎演習 A
泉文明先生
2014年7月16日

は農村部の集落にこそ、必要なものなのではないかと強く感じた

【参考文献】

二宮厚美・増山均・宮崎隆志・石原剛志・住野好久・二宮衆一・奥野隆一・中山芳一・楠凡之・丸山啓史・新妻二男・竹内常一著(2012)『現代日本の学童保育』株式会社 旬報社

田丸敏高・河崎道夫・浜谷直人編著 (2011)『子どもの発達と学童保育—子ども理解・遊び・気になる子』福村出版

『日本経済新聞』経済感覚や英語力磨け 企業の学童保育、個性競う 2013年3月11日 2014年6月28日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK05025_V00C13A3000000/

『日本経済新聞』学童保育にも「プロ」 指導員ら講座に続々 2014年5月7日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0103R_X00C14A5CC0000/

『日本経済新聞』学童保育、5年で30万人拡充 首相が表明 2014年5月22日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFS22029_S4A520C1PP8000/

『日本経済新聞』学童保育、利用者登録は最多の88万人 施設整備追いつかず 2014年6月6日 2014年7月13日

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0504C_V00C14A6CC1000/